

2021

レース結果報告書

全日本選手権 第7戦オートポリス大会



株式会社ドッグファイトレーシング

全日本選手権・レース結果

Race

早くも最終戦を迎えた全日本選手権。ランキングを一つ落とし7位のポジションでAP大会を迎えた豊島は事前テストを走ることが出来ず、レースウィークの1週間前に急遽テストを実施しましたが天候に恵まれず準備不足が心配される中で最終戦を迎えました。谷本と中澤も同様に走り込み不足での挑戦となりますが今年一年の成長を測る大事な1戦として集中して臨みました。

藤田は事前テストに参加して上々の手応えを掴んで最終戦に乗り込んできました。オートポリスはライディングの相性も良く、昨年気持ちよく攻めることが出来たコースただけに期待をもって最終戦に臨みました。コロナ過による厳しい社会情勢の中、4台参戦という大所帯で活動した2021年を締めくくる最終戦にチーム一丸で臨んだレース結果をご報告させていただきます。

タイトル：全日本選手権 第7戦 オートポリスサーキット

開催日：2021年9月18-19日

観客動員：7200人

YouTube視聴回数：9/19（日）7.8万回再生

リザルト：	#47	豊島 怜	予選 5位	決勝10位	ランキング8位
	#4	藤田拓哉	予選15位	決勝18位	ランキング14位
	#17	谷本音虹郎	予選21位	決勝リタイ	ランキング25位
	#31	中澤孝之	予選29位	決勝26位	

レースウィークの詳細は以下のブログにも掲載中です。

レース報告ブログ：<https://ameblo.jp/dfrboss/entry-12687118954.html>



レース報告・予選

Race

土曜日は小雨が降ったりやんだりの微妙なコンディションの午前の天気でしたが午後には晴天が広がりドライコンディションでの予選となりました。結果は豊島恰が今季ベストグリッドの5番手を獲得と成長をアピールしてくれました。事前テストをキャンセルしていたためドラコンディションでの走り込みは圧倒的に不足していましたが、豊島のライディングにAPのコースレイアウトはマッチしているので期待はしていましたが、想定以上の走りを見せてくれて今季最高グリッドの5番手を獲得しました。



一方昨年素晴らしい走りを見せた藤田拓哉は事前テストは上々の仕上がりにでしたが本番で深刻な腕上りが悪化してしまいアタックできないまま公式予選を15位で終える事となってしまいました。走行データを見比べても後半の上りセクションでは豊島以上の走りが出ているものの、ブレーキングポイントで大きくタイムロスしてしまい自己ベストから大きく遅れるタイムに留まり厳しいグリッドとなってしまいました。



谷本も走りの中身は遜色ないレベルですが2つのヘアピンコーナーで失速しすぎてしまいタイムロスしてしまいます。ライディングの問題かマシンセットの問題か？その両方か。翌日のフリー走行でマシンセットを変更して決勝での巻き返しを目指します。



そして中澤孝之。彼も少ない走行時間で走る毎にタイムアップして公式予選でも自己ベストをクリアして29番グリッドを獲得。実は中澤は今回の全日本最終戦AP大会でフル参戦活動を終了します。最後に悔いの残らないレースができるようチーム一丸となって決勝に臨みます。

レース報告・決勝

Race

オートポリス大会が終わりました。最終結果は豊島怜が10位、藤田拓哉が18位、中澤孝之が26位、谷本音虹郎は14位走行中に転倒リタイヤとなりました。

過去最高グリッドの5番手からスタートした豊島は最高のスタートダッシュを見せ、オープニングラップを3番手で通過と大きくジャンプアップ。序盤はトップグループに食らいつき入賞圏内を懸命に走りました。終盤になりポジションダウンしましたが、今持てる力を出し切った良いレースでした。

藤田はペースを抑えて腕上りが出ないように慎重な走り出しでしたが、予選同様早い段階で症状が出てしまい終始リスクを抑えた走りでもチェッカーまで走り切る事に集中しました。力を出し切れず悔しいレースだったと思いますがレース後はとても明るい表情で今シーズンをスタッフやファンの皆様の支えがあり、そしてスポンサーの皆様のおかげで無事シーズンを終えられた事の喜びを噛み締めておりました。

谷本も決勝で良い感触をつかみペースが上がり自己ベストを更新した直後に転倒と言う悔しい結果となりました。直後で見えていた藤田からのアドバイスもあり、今後の課題が見えた収穫の多いレースでした。そして地元の九州で力を出し切った良いレースだったと思います。

中澤は万感の思いの中、最後まで攻めきって前に行く坂本選手を追いかけました。ラストアタックで坂本選手を抜くことはできませんでしたがこの1年のチャレンジを物語る清々しいラストランでした。



監督コメント

Ofisyaru Comment

若手育成とタイトル奪取という2つの目標を掲げて臨んだ2021シーズン。コロナ過によりイベント開催も危ぶまれる社会情勢の中でしたが、無事に全てのレースが開催できた事に対し主催者や関係各所のご尽力に感謝申し上げます。また危険の伴うレースイベントを万全の態勢で支えてくださった医療従事者の皆様にも併せて感謝申し上げます。

2020年のシーズン終了時からアジア選手権や全日本選手権の開催動向を鑑みて、2021年の参戦カテゴリーを決定。豊島怜、谷本音虹郎の二人の若手と、タイトル奪取に意地を見せる藤田拓哉。これに2020年にフル参戦を決めたものの中止や延期で不完全燃焼だった中澤孝之が加わり4台体制で全日本選手権に臨むという過去最大の参戦体制となった2021年でしたが大きな怪我も無く無事にシーズンを終えることが出来ました。

今季は豊島が良い成長を見せてくれました。昨年より取り組み始めたダートトレーニングをはじめ、人一倍多くの時間をバイクに費やした彼の努力が結果となって表れた年でした。谷本も今年のオフシーズンからダートトレーニングを取り入れて彼の持つポテンシャルを最大限引き出せるよう来期に向け準備を進めてまいります。

2022年は既に始まりました。来期もライダーの成長をファンの皆様にお見せできるようチーム一丸となってバックアップしてゆきたいと思えます。引き続き皆様のご声援・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

スポンサー



竹中興運



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2021年も頑張ります！



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122

